

PORT OF NAGOYA

名古屋港

整備拡充の要望書

2024年 11月

愛 知 県
名 古 屋 市
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会



要 望

名古屋港の2023年の港勢は、総取扱貨物量は1億5,784万トンと22年連続、輸出額と輸入額の差引額は7兆8,631億円と26年連続日本一を堅持しました。

中部地域のものづくり産業を強力に支援する国際産業戦略港湾として、一層の物流の効率化を進めるとともに、港の強靱化を図り、日本経済の持続的な成長に寄与する港づくりに取り組んでまいります。

特に物流面においては、経済の好循環を加速・拡大させるべく、当地域のものづくり産業をはじめとする企業のサプライチェーンを支えるため、**コンテナ等の取扱機能の強化**に加え、情報通信技術の活用等による**コンテナターミナルの生産性の向上**やサイバー攻撃によるシステム障害の再発防止等に向けた**サイバーセキュリティ対策の強化**を図る必要があります。

また、持続的な港湾整備に伴い発生する**浚渫土砂の処分場整備を着実に推進**するとともに、ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラルの実現の両立に貢献していくため、名古屋港港湾脱炭素化推進計画を踏まえ、関係者と連携して**カーボンニュートラルポートの形成**を推進する必要があります。

防災・安全面においては、**国土強靱化の推進による安全・安心な港づくり**のため、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する**防災施設の機能強化**を図るとともに、港湾施設及び海岸保全施設の**老朽化対策**を強力に推進し、**国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能を維持**する必要があります。

交流面においては、港と都心を結ぶ運河など、良好な水辺空間の形成を図り周辺開発と一体となった**親しまれる港づくり**が重要です。

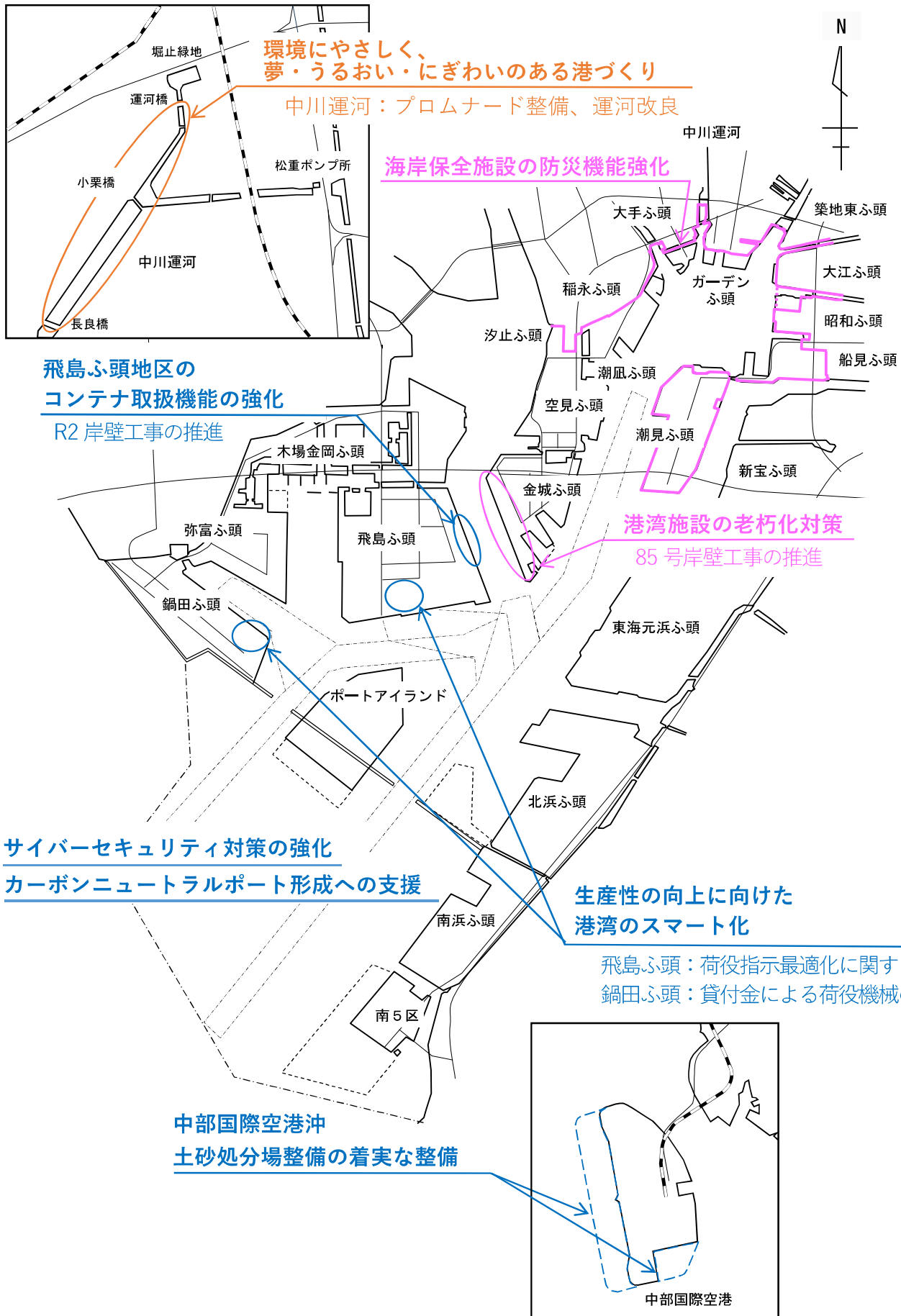
これらの実現に向け、地域としても全力を挙げてまいります。格段のご理解と更なる支援が不可欠です。

つきましては、**港湾整備及び海岸整備に必要な予算の確保**、並びに**施策の推進**に対して、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

2024年 11月

愛 知 県 知 事	大 村 秀 章
名 古 屋 市 長 職 務 代 理 者 名古屋市副市長	中 田 英 雄
名 古 屋 港 管 理 組 合 管 理 者 愛知県知事	大 村 秀 章
名 古 屋 商 工 会 議 所 会 頭	嶋 尾 正
一般社団法人中部経済連合会会長	水 野 明 久

箇 所 図



1. ものづくりを支える港

国際競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり

我が国経済を牽引する中部地域の基幹・次世代産業の経済社会活動を支えるため、ストック効果の最大限発現に向けコンテナ取扱機能の強化を集中的に推進すること。

さらなるコンテナターミナルの生産性向上に向けた港湾のスマート化を支援すること。

コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化に向け、必要な支援を行うこと。

名古屋港の港湾整備に伴い発生する浚渫土砂の処分場整備を着実に推進すること。

カーボンニュートラルポートの形成に向けて、港湾荷役機械等の脱炭素化の促進について支援すること。

飛島ふ頭地区の コンテナ取扱機能の強化 ストック効果の最大限発現



R1 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m、水深 15m
2022 年 10 月供用

R2 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m 水深 12m→15m
2023 年 5 月工事着手

港湾のスマート化の支援 コンテナターミナルの生産性向上



飛島ふ頭南側コンテナターミナル

荷役機器等の作業状況を
踏まえた荷役指示最適化
に関する技術開発
（2024～2026 年度）



鍋田ふ頭コンテナターミナル T1 岸壁

中部国際空港沖 土砂処分場の着実な整備 港湾整備に必要な機能確保



土砂処分場
2022 年 2 月 工事着手

現地施工状況

中部地方整備局提供

港湾荷役機械等の 脱炭素化の促進

カーボンニュートラルポートの形成



2. 安全・安心な港

防災機能の一層の強化と老朽化に対応した港づくり

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対し、地域の生活や産業を守る安全で安心な港湾を実現するため、防災機能の強化を図るとともに、施設の老朽化対策について支援・推進すること。

海岸保全施設および港湾施設の防災機能強化・老朽化対策

地震・津波対策が必要な区間
6.3 kmの早期整備が必要

岸壁の老朽化対策を
強力に推進することが必要



防潮壁の防災機能強化

- : 老朽化の著しい箇所
- : 完成自動車抛点の形成箇所



岸壁の老朽化対策

3. 親しまれる港

環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある港づくり

港と都心を結ぶ中川運河において、水辺に親しめる空間を形成するため、プロムナード整備や運河改良について支援すること。



名古屋港を取り巻く近況

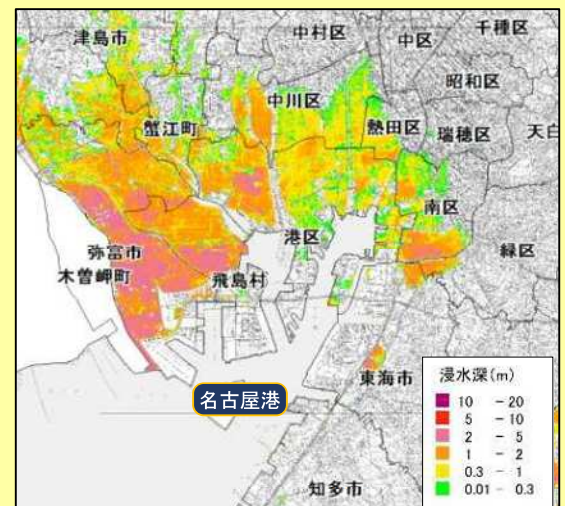
○背後圏には、基幹・次世代産業である「自動車」、「工作機械」、
「航空宇宙」等の主要メーカーが多数立地



○名古屋港と背後圏を結ぶ
充実した道路ネットワーク



○切迫する南海トラフ巨大地震等
による津波被害予測



出所: 愛知県「2011年度～2013年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」

既存施設を活かした 港湾整備を推進し、

○コンテナ物流効率化の取り組み

NUTS・集中管理ゲートの運用により飛島ふ頭のコンテナターミナルにおける
所要時間(コンテナトレーラー並び始めから退場までの時間) **平均 12~16 分**を実現

更なる効率化に向け ”NUTS second” project 進行中

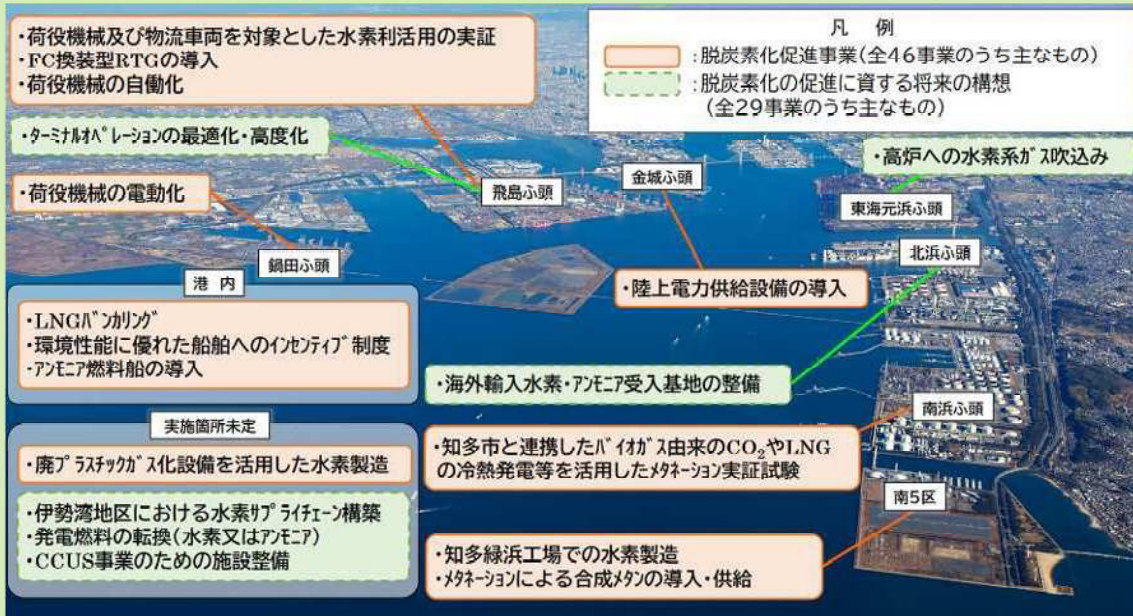
(鍋田ふ頭コンテナターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組の検討)



出所:名古屋港利用促進協議会「名古屋港におけるコンテナターミナル所要時間調査(2019年3月)」

○カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組み

名古屋港港湾脱炭素化推進計画



海外港湾との連携



国土交通省とカリフォルニア州による「港湾の脱炭素化・グリーン海運回廊シンポジウム」にて名古屋港の取組を発表

LNGパンカリング



セントラル LNG マリンフューエル株式会社提供

中部地域の経済成長を支え、**生産性向上**を導く

名古屋港の実力 2023 年名古屋港の日本一

22年連続
日本一

総取扱貨物量
1億5,784万トン

2002年から22年連続



外買取扱貨物量

24年連続
日本一

45年連続
日本一

自動車輸出台数
145万台

1979年から45年連続

26年連続
日本一

輸出額－輸入額
7兆8,631億円

1998年から26年連続



貿易輸出額

25年連続
日本一



名古屋港の経済効果



愛知県への経済波及効果 約 **39兆円**



愛知県民が購入する



食料品のうち約 **16%**



衣類のうち約 **88%**



家具のうち約 **58%**

が名古屋港経由

出所: 名古屋港管理組合「名古屋港の地域経済に及ぼす影響調査(2022年3月)」